数学の目標

- (1) 文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分析と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。
- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分析に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

評価の観点・方法

【評価の観点】

数学では、次の4つの観点で学習の評価をします。

- ① 数学への関心・意欲・態度
- ② 数学的な見方や考え方
- ③ 数学的な技能
- ④ 数量、図形などについての知識・理解

そのために、学習の重点目標として
 ☆ 数学的な見方や考え方のよさを知り、自ら考え解決しようとする態度を育てます。

☆ 基礎学力の定着を図り、技能の習熟を図ります。

☆ 主体的に学習に取り組み、積極的に発言しようとする態度を育てます。

☆ 物事を数理的かつ発展的に考える能力の向上を図ります。

【評価の方法】

- ☆ 自己評価カードの活用
 - ☆ 予備診断テスト
 - ☆ 学習レポート、問題集、ノート点検
 - ☆ 定期テスト
- 等を活用して評価します。

特色ある学習方法

☆ 本校の数学科では、数学の学習への取り組みや多様な考えを学ぶため、学級単位での一斉授業を中心に学習を進めていきます。

なお、一斉授業ではTTにより2人以上の教員（いきいき先生や学校支援員、学校応援団等も含む）できめ細かな指導を行います。

また、単元や内容によってグループ学習も行う予定です。

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期	第 1 章 式の計算 1. 式の計算 ① 単項式と多項式 ② 多項式の計算 ③ 単項式の乗法と除法 ④ 式の値 2. 文字式の利用 ① 式による説明 ② 等式の変形 第 2 章 連立方程式 1. 連立方程式 ① 連立方程式とその解 ② 連立方程式の解き方 ③ いろいろな連立方程式 2. 連立方程式の利用 ① 連立方程式の利用	○ 単項式と多項式の意味を知る。 ○ 次数と1次式の意味を知る。 ○ 同類項をまとめることによって1次式の加減ができることを理解する。 ○ 分配法則を使って多項式と数の乗除ができることを理解する。 ○ 単項式の乗法、除法を理解する。 ○ 式の値の求め方を理解する。 ○ 文字式の有用性について理解する。 ○ 等式の性質を使って等式の変形ができることを知る。 ○ 2元1次方程式の形を知る。 ○ 加減法や代入法によって1つの文字を消去する解法を理解する。 ○ 様々な形の連立方程式の適切な解法を思索する。 ○ 連立方程式を利用して様々な問題を解いてみる。
二 学 期	第 3 章 1次関数 ① 1次関数を求めること ② 1次関数とみなすこと 2. 1次関数と方程式 ① 2元1次方程式のグラフ ② 1次関数のグラフの利用 ③ 連立方程式とグラフ 第 4 章 平行と合同 1. 平行線と角 ① 多角形の内角と外角 ② 平行線と角 2. 合同な図形 ① 合同な図形 ② 三角形の合同条件 ③ 証明のすすめ方 第 5 章 三角形と四角形 1. 三角形 ① 二等辺三角形の性質 ② 二等辺三角形になるための条件 ③ 直角三角形の合同条件	○ 1次関数は $y = ax + b$ の形で表さ ○ 傾きと切片の意味を知る。 ○ 与えられた条件から1次関数の式を求めることができる。 ○ 2元1次方程式のグラフを書くことができる。 ○ グラフ利用することによって様々な事象を推測することができる。 ○ 多角形の内角の和の求め方を知る。 ○ 多角形の外角の和は 360° であることを知る。 ○ 対頂角や平行線の錯角、同位角が等しくなることを知る。 ○ 三角形の合同条件を知る。 ○ 三角形の合同条件を利用して、様々な事象を証明する。 ○ 定義、定理の意味を知る。 ○ 二等辺三角形の底角が等しいことを証明する。 ○ 二等辺三角形の頂角の二等分線は底辺を垂直に二等分することを証明する。 ○ 二等辺三角形になるための条件を証明に利用する。 ○ 直角三角形の合同条件を知る。
三 学 期	2. 平行四辺形 ① 平行四辺形の性質 ② 平行四辺形になるための条件 ③ 特別な平行四辺形 ④ 平行線と面積 第 6 章 確率 1. 確率 ① 確率の考え ② 確率の求め方 ③ いろいろな確率	○ 平行四辺形の性質と平行四辺形になるための条件を証明して定理とし、それを利用して証明問題を解く。 ○ 長方形、ひし形、正方形は特別な平行四辺形であることを理解し、分類することができる。 ○ 三角形の面積は底辺と高さで決まることを利用し、等積変形を行うことができる。 ○ 確率の意味を知る。 ○ 確率を求めるには同様に確からしいことが条件であることを知る。 ○ 樹形図や表を利用して確率を求める方法を理解する。